

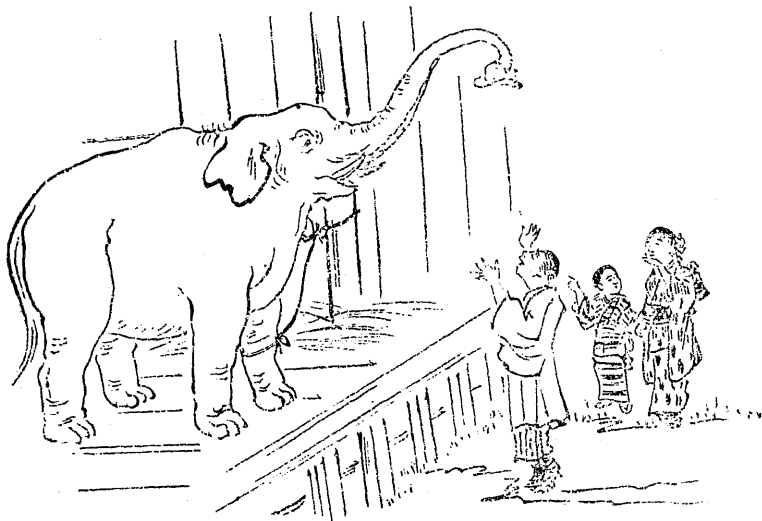
象と子帽子

姉のおはなが、弟の信一をつれて動物園に象をみにゆきました。

大きな象が、小さな目をして、長い鼻をうごかし何かほしそいな顔をして居ります。

それで、一しよに見物をして居つた男が、たもとからパンをだして象の前にさしだしました。

すると象はうれしそ一に、そのパンをとろ一



として長い鼻をのぼし出すと、その男はヒョイとそのパンをひきこめました。

そうして、その男がまたパンをだすと、象はこれをとろ一として鼻をだし、象が鼻をだすとその男は急にその手をひきこめます。

三四へんばかりそれをとろ一としましたあとで象は何かさつたよ一すで、こんどはいくらパン

をさしだしても少しもとろーとしませぬ。

しばらくすぎて、その男が前のことを忘れてしまつて、ふーぜいの見物と話をしながら、象をみて居ると、いつの間にか、象はその男の方にちかよつてきて、ふいに鼻をのぼしてきて、忽ちその男のかぶつて居つた、麥わら帽子をとりさりました。

そーして、その男の前に帽子をだして、その男がこれをつかもーとすると、急にひきこめます。さすがの男も、こんどは大變によわつて、なんべん、となくこれをとるかえそーとしましたが、とーとーれしまひになつて、象はその麥わら帽子をさもうまそーにのんでしまいました。

弟の信一はこれを見てうち笑ひながら、
ねーさん象がかつたね

といひますと、姉のおはなは小聲で、

いたづらをしたからよ

といひました

摺み方

今度の摺み方は、前のついで、第一番は燈籠てこさいます、摺み方は車の通りで、輪になつた所、一圖のイとロとの所を裏かえしにして引き出して、二圖のよーにいたすのです。

その次は股引で、燈籠のまんまかゝら、横に二つに折ると出來ます。(第三圖)

次は足袋で、これは股引を、縦に二つに折ると出來ます。(第四圖)

次は鉄砲船で、これは燈籠のよーに三所引き出し、一所残して五圖のよーにし、イロの線の